



# 同窓会会報

—創刊号—

平成16(2004)年4月30日

VOL. 1

発行者：鈴木淳策

事務局：

〒963-0201

郡山市大槻町字古屋敷102

郡山ザベリオ学園内同窓会事務局

TEL (024) 952-7756



神よ 私を 平和の道具にしてください

この地は かつて 郡山ザベリオ学園の校舎が  
あり 神の愛と清らかさを たたえ 子どもたちが  
毎日を過ごした所であります 1930～1987



中央：前校舎跡地に建てられた記念碑  
(現・ホテルハマツ正面玄関東側)

上左：旧校舎・昭和35年～62年(虎丸町)

下左：現校舎・昭和62年～現在(大槻町)

上右：マリア祭(毎年5月に行われている)

上：中学校、クラス毎に作ったタペストリー：2003年

下：小学校

後列左より ルイス・ソベ先生、ルシール・プレボー先生、  
ジャンヌ・ロア(アンナ・マリー)先生、テレーズ・ルノー(ジェロム)先生

前列左より セリン・ブルボ先生、アガタ・ボルデュック先生、  
ガブリエル・ミシヨー先生、ルシール・アダム(オクタヴィー)先生、  
ジャネット(ジョゼフ)先生

[カナダ・ポンピオ修道院にて。2003年6月15日]

同窓会員総数 3,612名(平成16年3月31日現在)





同窓会会長  
鈴木 淳 策  
(昭和42年・小4回卒)

昨年の総会で、二代目会長に就任いたしました。増子前会長におかれましては、同窓会発足以来、長い間ご尽力いただき誠にありがとうございました。前役員のご志を継承し、会の発展に微力ながら寄与できればと思っております。そのひとつとして、このたび「同窓会会報」を創刊致しました。皆様の情報交換の場として活用していただければ幸いです。これを機に会員同士の繋がりをより強く、より大きくしていくと共に、母校や在校生にできるだけの支援をしていきたいと思います。

また、会報発行にあたり、学園長先生はじめ多くの皆様にご協力をいただきましたこと、この場を借りて、心より感謝申し上げます。

6月に開催されます総会でお会いできますことを楽しみにしております。

### 「会報」発刊に寄せて

郡山ザベリオ学園学園長

同窓会顧問

高橋 興 子



同窓生のみなさん、こんにちは！「会報」の発行、おめでとうございます。これからは

「会報」が学園とみなさんをより近く、より親しく結んでくださること、大変嬉しく思っています。

私は30年ほど前、中学校にいました

### ご挨拶



同窓会前会長  
同窓会顧問  
増子 眞 也  
(昭和39年・小1回卒)

同窓生の皆様方におかれましてはお元気にご活躍のこととお喜び申し上げます。この度同窓会会報が発行されましたことを大変嬉しく思っております。

本同窓会は昨年8月に総会と創立35周年記念祝賀会を開催し、規約の改正と役員を選出を行い新たな一歩を踏み出しました。そして本年の会報発行は新役員の方々の大変なご努力の結果であり同窓会の発展に寄与するものと信じております。

また、昨年春には15年ぶりに会員名簿が作成されましたが、名簿と今回発行の会報をより多くの関係者の方々にご利用して頂くことにより、学園の輪が広がり、親睦と連帯が一層深まることを願っております。同窓生の皆様のますますのご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

が、その時の生徒さん達が、今は保護者として後援会を支えてくださっている姿に接し、非常に心強く思っています。

高校から大学へ、さらに社会人として世の中の空気を吸ってきた後で、「ザベリオにしかないもの」に気がつき、お子さんにも同じ教育を与えたかったと話してくれました。この頃は、公立の

学校が私立に固有だった心の教育を導入しようとしています。聖書に基盤を置いた人づくりを目指すカトリック教育の確かさ・豊かさ・その普遍性に並ぶものではないと思います。

ザベリオ学園は昨年、創立70周年を祝いました。カナダの修道女達が自分

の生涯をかけて来日し、神さまが一人ひとりを愛して下さっていることを伝えたくて郡山でザベリオ学園を始めました。そのおかげで、ザベリオの子ども達は神さまに愛されている者として自分を信じ、周りの人々と手を取り合って生きることを学んでいると思います。

地球が一つ家族になろうとしている今の時代、ザベリオ学園が担う使命がますます大きくなりました。みなさんと共にザベリオ教育を創り上げて行くために、「会報」が橋渡しとなってくれることを願っています。

### 同窓会は

昭和39年(1964年)、郡山ザベリオ学園第1回卒業生が小学校を巣立ちました。小学校または中学校の卒業生および母校関係教職員が会員である現在の同窓会は昭和43年(1968年)に発足し、今年平成16年(2004年)で36周年を迎え、小学校41回卒、中学校38回卒の方が新会員となりました。

郡山ザベリオ学園には、在校生の保護者による「後援会」、卒園・卒業生の保護者による「ザベリオ会」、そして私たちの「同窓会」があります。

### 学園沿革

- 昭和元年 無原罪聖母宣教女会のシスターが来日
- 昭和5年 郡山市に修道院を設立
- 昭和7年 聖マリア幼稚園開園
- 昭和33年 学校法人郡山ザベリオ学園 小学校開校(修道院の一部を教室)
- 昭和35年 小学校校舎新築落成
- 昭和39年 学校法人郡山ザベリオ学園 中学校併設
- 昭和40年 中学校校舎・体育館新築落成
- 昭和42年 聖マリア幼稚園を郡山ザベリオ学園幼稚園と改名
- 昭和62年 学園移転(虎丸→大槻)
- 平成15年 学園創立70周年



卒業式 (中学校：2004年3月11日)

同窓会創立35周年記念祝賀会

35周年を祝い懇親を深める

平成15年8月16日正午より  
ホテルハマツ(母校跡地)

「清く 明るく 強く」郡山ザベリ  
才学園の校風にふさわしく数々の思い  
出を胸に約150名の会員が集まり、  
同窓会創立35周年記念祝賀会が開催さ  
れました。厳粛に行われた総会后、華  
やかな雰囲気での記念祝賀会となりまし  
た。村澤かをりさん(昭和50年・小12回  
卒)には、お琴の演奏、向山良作さん  
(昭和52年・小14回卒)には、ピアノ演  
奏を記念演奏として、美しい調べを聞  
かせていただきました。

母校への思いが会場中に広がり、恩  
師と共にみなさまがなつかしく、楽し  
いひとときであったことと存じます。  
また、お会いできます日を楽しみに  
ごきげんよう。(同窓会前副会長 渡辺佳子)



会員名簿 (平成15年2月発行)



35周年記念ファイル (A4版)



平成15年同窓会総会

役員改選・会則改正行われる

平成15年8月16日11時より  
ホテルハマツ(母校跡地)

35周年祝賀会に先立ち開催されまし  
た同窓会総会では、増子真也会長議長  
の下、会則の一部改定、役員改選が  
慎重審議され、満場一致にて左記の通  
り承認されました。

尚、引き続き行われました新役員に  
よる役員会にて、今後は鈴木淳策新会  
長の下、全役員が同窓会を盛り上げる  
べく活動していくことが決議されまし  
た。会員の皆様には今後とも引き続き  
同窓会活動にご協力をお願い申し上げ  
ます。(佐藤)

◆ 会則改定の要旨 (会則13頁記載)

- ◎ 副幹事長及び常任幹事の役職を廃止し、副会長3名・幹事20名以下とし、会務をより強化する。
- ◎ 委員会を規定する。
- ◎ 役員に校内幹事を新設する。
- ◎ 顧問、校内幹事選出規定を設ける。
- ◎ 入会金を3千円に改定。
- ◎ 第16条を新設。

◆ 新役員

- 会 長 鈴木淳策
- 副会長 佐藤善彦・岡田真理・森村聡子
- 会計監査 吉田禎典・佐久間 啓
- 会 計 阿部秀子・伊藤ひろ美
- 幹事長 佐藤真治
- 校内幹事長 吉成めぐみ(平成16年7月迄)

母校バザー

平成15年10月26日(日)

ご協力ありがとうございました

2階小学校理科室での同窓会喫茶コ  
ーナー、美術部OBによるカレンダー  
作成販売はバザー恒例となっております  
が、少しでも母校に協力できればと、  
手作り作品と物品の販売をいたしました。  
同窓会では初めての試みでしたが、  
学園事務局・後援会の方々にもお力添  
えいただき、教室を一つお借りいたし  
ました。およそ1ヶ月程の準備期間の  
ため、同窓生全員に周知することがで  
きず、70余名の有志による参加となり  
ましたが、お天気にも恵まれ、おかげ  
さまで、売上総額290,640円を学  
園にお渡することができました。

(バザー委員長 安藤昌廣)

主な活動 (平成15~16年)

平成15年	2月	会員名簿発行
	8月16日	総会・同窓会創立35周年記念祝賀会
	9月20日	郡山ザベリ才学園70周年記念式典 会長・副会長出席
	10月26日	学園バザー協力
	10月30日	新旧役員引継ぎ会
平成16年	3月	幼稚園・小学校・中学校卒業式 会長出席
	4月	小学校・中学校入学式 会長出席 幼稚園入学式 副会長出席
	4月30日	会報発行
	6月26日	同窓会総会(予定)
	11月7日	学園バザー参加(予定)



小学校 校長  
川田紀美子

同窓会の皆様、このたびは「同窓会  
会報」の発行、おめでとうござります。  
私は、丸4年前、本校に赴任いたしま  
した。所属は、コングレガシオン・  
ド・ノートルダム（モントリオール市）  
の会員ですが、明治学園、桜の聖母学  
院、カリタス学園での学校教育に携わ  
り、今回、奇しきも、私の出生の地・  
郡山に任命をいただきました。

本学園は、自然界に恵まれ、アカデ  
ミックな教育環境です。子ども達は市  
内外四方八方から、元気に登校してき  
ます。現代社会は、子どもが育ちにく  
く、又、子どもを育てにくいことは事  
実です。しかし、本学園の教育理念等  
は、今日も私達教職員に勇気と確信を  
持つて子ども達に向かわせてくれます。  
昨年9月に祝った「学園創立70周年  
記念式典」での感激は、また未来への  
ステップの活力となりました。

本学園の校風がますます香り豊かな  
ものとなりますように、子ども達、保  
護者の方々、そして教職員が心と力を  
合わせて努力してまいりたいと思いま  
す。同窓会の皆様、どうぞ、応援して  
ください。神の祝福を祈りつつ、皆様  
の活躍を願っております。

小学校は、現在、宗教・道徳教育を柱  
とした「心の教育」と、外国人教師と日  
本人教師によるT・T（ティームティー  
チング）を実施している「国際教育」と、

そして児童の「生きる力」を育てる「総  
合教育」に力を入れています。特に「総  
合教育」では、「総合B」と名付けた時  
間を週に2時間設け、全クラスが一つ  
の題材を中心にアイディアと工夫によ  
って様々な活動を行っています。たと  
えば、「家造り」・「ミュージカル」など  
の活動をするクラスや、誰かを喜ばせ  
たいという気持ちから料理を作ったり  
プレゼントを作って渡したりなど、他  
の学年や幼稚園との交流をするクラス  
もあります。自分達の頭で考え、自分  
達の手で物を作り、時には激しい議論  
が交わされながら、みんなで活動を繰  
り広げるこの「総合B」の時間を、児童  
はとても楽しみにしています。

■小学校の主な行事 毎年行われるマ  
リア祭・ザベリオ祭・クリスマス会な  
どの「宗教行事」や、音楽・体育関係の  
行事の他に、最近では「部活動夏合宿」  
や4・5年生の「宿泊訓練」、そして6  
年生の「スキー合宿」「体験学習旅行」な  
ど一泊二日で実施される行事によっ  
て、子供たちが心身を鍛える場面も増  
えています。また、毎年2月には、児  
童会による「ちびっこふれあいバザー」  
が開かれています。この収益金は、世  
界の困っている人々のために使われま  
す。15年度はポリビアからお出になつた  
サレジオ会員の倉橋輝信神父様から、  
ポリビアの現在の様子を全校生でお聞  
きして、親のいない子ども達のために  
使っていたらどうしようにお渡ししました。

■活躍する子どもたち（平成15年）  
陸上交歓会400mリレー女子総合  
9位、男子走り高跳び 総合2位。郡

## 幼稚園だより



幼稚園 園長  
藤松貴美子

### 幼な子たちと

小学校から眺めていた幼稚園に移つ  
ていつの間にか11年が過ぎました。毎  
朝、孫のような幼な子一人一人と今日  
もまた出会えたことへの感謝の挨拶を  
お互いにします。子ども達からは元気  
のパワーと若さをもらい、また彼ら達  
の素直さ、想像の豊かさ、心の清さ、  
単純さに驚きと喜びをどれ程味わって  
いることでしょうか。イエズス様は  
「この幼な子のようにならなければ天  
国に入れない。」とおっしゃいました。  
一人一人は本当に可愛い子どもです  
が、中には元気づける位元気な子、い  
たずらつ子もいてにぎやかです。でも  
聖母マリアに見守られ神のみ子の中  
でしっかり成長していることを確信して  
います。

山市こども美術展金賞3名。郡山地区  
児童版画コンクール入選4名。実用英  
語技能検定5級、5・6年生希望者全  
員合格。球技交歓会サッカー部3位、  
ミニバスケットボール部2位

個人では、日本クラシック音楽コン  
クール、県下小学生英語レシテーション  
(暗唱)コンテスト、郡山市民体育祭  
フィギュアスケート、全日本スノーボ  
ード選手権東北大会などでそれぞれ優  
秀な成績をおさめています。(佐藤)

昨年、学園創立70周年を祝いました  
が、カナダから来られた先輩のシスタ  
ー達が伝えてきた神の愛、愛されてい  
る喜び、愛することの出来るうれしさ  
を、どんなに周りの環境が変化しても  
教え続けていきたいと思ひます。

心、命の尊さ、許し合うこと、感謝  
すること等を関わるすべての人と共に  
分かち合いながら、子ども達が神様か  
ら愛されているかけがえのない自分に  
気づき、意義ある生活がおくれるよう  
共に歩み続けたいと思ひます。

### ■マリア祭

5月はマリア  
様の月です。園  
児たちは、一人  
ずつ自分の心を  
表す花を持ち寄  
り、マリア様にお捧げしお祈りしま  
す。4月に入園したばかりの3歳児も、年  
長・年中さんの祈る姿を見て、かわい  
い手を合わせます。また、マリア祭は  
小・中学校でもそれぞれ行い、祈りを  
捧げています。(赤沼)



### 学園の主な行事

◆学園創立70周年記念式典  
テーマ「麦の穂は、希望の光となつて」  
日時 平成15年9月20日(土)

会場 郡山市西部体育館  
本学園の歴史を築いた人々に感謝と  
喜びを表し、希望の未来へと繋げると  
いう内容で、第一部が式典、第二部が  
幼小・中のアトラクションを行いました。





中学校 校長  
駒田 瑞穂

35年前、東北のウイーンやシカゴといわれた郡山の地に、新卒の私が着任してザベリオでの生活がスタートしました。当時はカナダ人のシスターも多く、なかでも一番心に残っているのは、ジャネット先生とモニカ先生です。ジャネット先生は、ちやめつけたっぷりの英会話の先生で、時々変な日本語で私達を混乱させました。モニカ先生は、生き方そのもので私達を導いてくださっています。今、ザベリオでは、このようなカナダ人のシスター方を通して伝えられた、創立者デリア・テトロの「神様に愛されているという実感を世界中の子どもたちに知らせたい」という強い思いを実現するために、特に中学校では「違いを受け入れ一人ひとり大切に育てる心の教育」と「真の国際人になるために必要な英語教育」に力を入れていきます。おかげ様で25年ぶりに出場した高円宮杯英語弁論の市大会で優勝したり、インターナショナル・デュー等を通して楽しみながら英語学習に取り組んでいます。昨秋、創立70周年記念事業で、中庭にレリーフ「デリアの夢」が全校生や同窓生にも創作にかかわっていただき完成し、心のこもった除幕式が行なわれました。生徒達が空に飛ばした無数の風船を見上げた時、創立者デリアの夢がこの郡山に根づいている事を実感し、いつしか目に熱いものがこみ上げてきました。

中学校は、ボランティア活動と国際理解教育に力を入れています。

■行事 インターナショナル・デュー  
：中学校の大きな行事です。様々な国の方をゲストとしてお招きし、研究したことを発表したりします。15年度は10代の若者について調べ、ゲストとディスカッションなどをして交流を深めました。

### フィリピンの学生と交流



このほか2年生の学習旅行ではブリティッシュヒルズに行き、2日間英語で過ごします。また、希望者を対象に、カナダでのホームステイ研修も行なわれています。

■サタデー・スクール 年間10回全校生徒が土曜日に登校し、補習をしたり、いろいろな趣味の講座をとり、楽しんでいきます。

■生徒会 全校生徒が老人ホームのお年寄りと文通をし、年に一度訪問して交流しています。また、愛の募金やチャリティーバザーを実施し、売上金をルワンダの学校づくりやボリビアの奨学金として送っています。

■部活動 現在、バスケットボール部、バレー部、ソフトテニス部、水泳部、卓球部、イースター部、吹奏楽部、英語部、特設（応援・陸上）部があり、それぞれ熱心に活動しています。

イースター部（ボランティア）  
マザーテレサの言葉「痛むほど愛しなさい」をモットーとして、老人ホーム、聾学校、保育園などの交流、盲人と街を歩く会への参加を通して、生き生きと活動しています。長年のボランティア活動が認められ、ブルデンシャルボランティアアワードでさまざまな賞をいただき、14年度は東北地区代表として、全国大会にも参加しました。

卓球部 ザベリオの名を一躍有名にしている卓球部です。中体連郡山市大会での団体優勝24回、県大会優勝6回、東北大会出場22回、全国大会出場6回です。14年度はシングルで東北大会に出場しました。



■英語弁論大会 14年度から25年ぶりに参加した高円宮杯英語弁論の郡山市大会では、暗唱の部、創作の部ともにみごと優勝！福島県大会でも暗唱の部では3位になりました。

■文芸 百合子賞は郡山在中の中3の生徒が対象で、創作、詩の部門にわかれています。毎年4〜5名が入賞しており、14年度は創作の部門で正賞をいただきました。

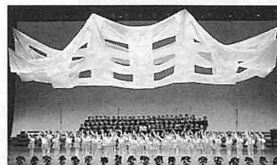
また、今年度は、県の青少年読書感想文コンクールで、準特選という大きな賞をいただきました。（吉成）



ホームステイ研修（カナダ）

### ◆学園クリスマス

平成14年12月6日、郡山市民文化センターで学園クリスマスを開催し、市民の皆様は何故学園が郡山に存在するかを知っていただくきっかけとなりました。3年に一度実施していく予定ですので、同窓生の皆様にも是非ご覧いただきたいと思います。



### ◆平成16年の主な行事

7月3日(土) 音楽祭 幼・小・中合同  
10月16日(土) インターナショナル・デュー(中)  
11月20日(土) 学園教育公開  
(幼・小・中合同、教育関係者対象)

### ◆夏祭り（本年は7月17日開催）

毎年7月、夏休みを前にマリアの広場で教職員と後援会が「夏祭り」を開催しています。模擬店など嗜好をこらした設営で楽しい夕べとなっています。同窓生の皆様もぜひご参加下さい。

### ■平成15年度 進学先

《県内》安積21名、安積黎明15名、日大東北9名、郡山5名、尚志4名、郡山女子大附3名、桜の聖母／郡山東各2名、郡山商業／須賀川桐陽／石川／郡山萌世／あぶくま養護学校高等部・各1名  
《県外》東京学芸大附／江戸川学園取手・各1名  
《海外》アメリカサウス高校 1名  
《その他》1名

## Messages from MIC Sisters of Canada

MIC=所属修道会名のイニシャル

To teach you at Xaverio School was always a pleasure for me. Now that I am in my golden years, my faithful memory brings back the hopes I had for the future of you all, that is, to master English fluently. When I look back upon those years, I must say that I regret the times I scolded some of you, remember?

You are still very dear to me. I pray god to bless all of you who learned to know Him, a result of your education at our Koriyama school. **Janet Delisle** (*Janet Sensei*)

I enjoyed the time I spent in Koriyama, though it was very short. What struck me then was that the parents were open, friendly, and cooperative. Even though I was principal of Xaverio, I enjoyed teaching English, as it was a pleasure for me. With the age I am now, 96, my activities are not what they used to be. Even so my prayers daily accompany you all. **Rita Blais** (*Mary Sensei*)

To the Xaverio School graduates, my best regards

I spent but two years (1966-1968) at Xaverio but my memories are of the best, especially for the grade six and first year middle school boys and girls. It was not always easy for me due to the fact that I knew only two Japanese words *Arigatoo* and *Sayonara*.

I left Koriyama to study Japanese, and from 1970 to 1978 I taught at Jochi University until my return to Canada to share my oriental experience with Canadians, mainly students and teachers,. Now at the age of 87 I am in retirement in Laval just across the river from Montreal. To hear from my former students would be a dream come true.

**Noella Brisson** (*Arbares Sensei*)

Dear children of 1966:

My poor eyesight is far from being a reason to forget you all. My memory has always kept in touch with you, and moreover, you are often remembered in my prayers for the success of all your undertakings.

**Agathe Bolduc** (*Agatha Sensei*)



ジャネット(ジョゼフ)先生とルシール(オクタビ)先生  
学内研修でカナダの修道院を訪問した時  
1996年8月(吉成)



右：スール・セン・グレゴワール  
左：スール・マリ・ザベリオ

1964年小学校卒業記念アルバム  
(1回生)より



左：スール・セン・ジョゼフ  
中：スール・セン・ジェロム  
右：スール・セン・ポーロ三木

Dear graduates,

As I look back upon my missionary apostolate in Japan, the years spent at our Xaverio School are among my fondest memories. Many years have passed since, and I have to admit that reminiscing on those days gives me great joy.

My English students at the time are now adults. As for me, I am retired at our Pont-Viau Convent in Quebec. In spite of the years gone by, my prayers often accompany my thoughts, as I ask the Lord to guide and bless all of my past students. **Jeanne Roy** (*Anna-Marie Sensei*)

Dear friends, *Konnichi wa*

Presently I live in Pont-Viau and I thank God as my health has improved. During my spare time I do a bit of crafting.

Among the happy memories I keep of Japan, one of them was of teaching English at our Xaverio School in Koriyama. The parents were always ready to help and collaborate for the best of the children. As my thoughts are often in your midst, I can say too that my prayers accompany you all in your daily occupations. **Lucille Adam** (*Octavie Sensei*)

Dear graduates,

Four years ago, I left Koriyama and Japan definitely but a part of my heart still remains there. I thank you for the *Sotsugyo Meibo* I received last year. I enjoy putting faces on the names but I presume you must have changed since the years of Xaverio. I am now helping at the secretariate and for other similar tasks, suitable for my age 80. I love you all and I pray for your health and happiness.

My e-mail is the\_reno2001@yahoo.ca I would enjoy reading you! **Therese Renaud** (*Jerome Sensei*)





Twenty years ago I left Koriyama where I was teacher of English at the Primary School. For some years, I worked for missionary promotion in the province of Quebec. Later, I taught English & French to immigrants. Last year, I have been called as a driver for our elder Sisters at St. Jean on Richelieu, a nice place facing the river. Here, besides driving, I am in charge of the small library. Reaching 70 this Spring, I am healthy and joyful. Be sure I keep Japan, Xaverio and all of you deep in my heart and prayers. I loved Japan and will always do. May God bless you all! *Gambatte kudasai ne. Ogenki de.*

**Michelle Paquette**

足袋で有名な埼玉県行田市から、この4月、東京の本部修道院に移動しました。“六十九才”と書いてみて、じっと見つめても自分と結び付かず、人々と出会いたくて外へ出て行く日々です。多くの仲間と気持ちを若くもち、他人の世話をよくし、何事にも感謝し、よく書き、読み、感動することを忘れず、よく笑える日々でありたいと念じつつ書きものに追われていることが多いです。生きていること、生かされていることに感謝!

**前田治子**

1986年7月から、ハイチにいます。どこにあるか、ご存知ですか。キューバとドミニカ共和国に隣接する小さな島国で、世界の最貧国の一つと言われています。政治的にも不安定で、1991年以来、クーデターや暴動が時々起こり、住民の生活状況はいっこうに改善されません。私はここで、子ども達の識字教育をしています。一人でも多くの子どもが、自分で自分の道を切り開いていけるように、「読み書き」を手伝っています。職業訓練校に進んだり、電気関係や左官などの技術を身につけて自立していく子ども達の成長を目の当たりにする時、最高の喜びと幸せを味わっています。

**本郷幸子 (ザベリオ)**

遠い遠い昔のことで、皆さまご存知ないかと思いますが、私にとって郡山の学園はなつかしい場所、そして大好きなところ。1963年から67年にかけて郡山でご父兄や生徒さん方と楽しくすごさせていただきました。現在75才のこの年になってもその延長のように会津のザベリオ学園でお母様方の聖書やキリスト教のお勉強の相手をさせていただいています。

**大橋礼子 (センポーロ三木)**

Congratulations for the 1<sup>st</sup> issu of your Alumni Newsletter! Do you remember Celine Sensei ? I have worked at Koriyama Xaverio School from the year Showa 44 (1970) to Showa 52 (1978) with a staff of excellent educators and very nice students. What good memories for me! I was young at that time, speaking a poor Japanese! You were full of life, your parents cooperative and generous with the school. It is an unforgetten time for me!

After leaving Koriyma, I went to Tokyo and some years after I was in Wakamatsu working in Xaverio School. 1996 was the year I left Japan for good, forever grateful for the nice people I have met during these years. In Canada, for a while I taught French to immigrants, helped some young Sisters from others countries in their studies.

Now I live in St-Jean-sur-Richelieu, a small city near Montreal. We are 19 Sisiters who had, in the past, worked in different countries. I can say that I am an active retired Sister : working as secretary, knitting, and so forth. . . Japan is still in my heart. I always keep some links with your country. Thus I sometimes had the pleasure to guide groups of Japanese (techers, students from Xaverio) during their visits of Montreal and Quebec. Last year I enjoyed looking at the beautifull video of the 70<sup>th</sup> anniversary of Koriyama Xaverio School. I was also asked to translate it in French.

- what a job! -

But the most important thing for me, of course, is to pray for all of you. I Thank God for what you are doing now and ask His blessings for you and your families. May the spirit of Xaverio be always alive in your heart. With my best regards to every one,

**Céline Bourbeau**



旧修道院おみ堂にて



旧修道院



e-mail アドレス

テレーズ・ルノー(ジェロム)先生：メッセージ内に記載 (ジャネット先生、ルシール・アダム先生、アガタ先生へのメールは、テレーズ先生へご依頼ください。)  
セリン・ブルボ先生：celinebourbeau756@hotmail.com  
ルイザ・ニコル先生：louisanicolemic@hotmail.com

郡山ザベリオ学園の皆様ご機嫌よう。お久しぶりで御座います。私は帰国してから3月19日で丸2年になりました。Sister高橋より皆様方からのお願について伺い私たちのことを、思い出して下さって本当に嬉しく思います。それに答えるために何を分かち合ったらよいでしょうか？いま私の心から一つの歌が浮かんできました。何回も自然に歌いながら私は日本にいた時の生活を思い出して感謝の祈りになります。

“いつまでも愛の中で”  
 いつまでも 愛の中で  
 ひたむき日々を  
 せいっぱいに生きて行きます  
 きょうからはじめ  
 イエズスキリスト  
 きのうもきょうも いつまでも  
 同じです 同じ愛  
 いっしょに手を取って

このような歌詞は私を生かしてくれます。皆様はご存知のように私は若くなれません。もう77才です。カナダから46年間離れて変わった故郷、社会、世界、また懐かしい兄弟姉妹たち、m.i.c.姉妹たち、友達、知り合いの所に戻って、これから慣れるかどうか回りのみなさんはよく心配して下さいました。信じている神様はいままで同じようにもう一度一つの命の言葉を与えて下さいました。一人一人から親切な言葉で“慣れますか？”と聞かれるご

とに“Ma vie se continue”“私の生活が続きます”と命を感じて元気よく答えられます。

私はカナダに帰ってから3月19日～6月7日まで本部に住みました。2002年は私たちの会として百年記念の年でした。私の生活の流れは自然に決まりました：百年記念のお祝いに参加すること、休むこと、健在である11人の兄弟姉妹たち、甥たち、姪たち、そして甥と姪の子どもたちを訪ねること、また Pont Viau の修道院で年よりと病気になる多い姉妹たちを訪問し、2002年に亡くなった25人の姉妹たちの葬式に参加しました。

3ヶ月たってから Saint-Jean-sur-Richelieu の修道院のために任命されて6月7日に引越しました。私にとってまったく初めて住んだ所です。けれども、25人の姉妹たちは暖かい心で迎えて下さいました。わりあいに年上の姉妹ですが、みな元気で生き生き過ごしていちゃいます。場所として素晴らしい自然に恵まれた私たちの修道院はリズムがあって共同体の生活のために素晴らしく静かな所です。この修道院の中に小さな仕事がいっぱいあります。私の主な仕事は受付け、食堂…。そして会津若松でしていた Infomatique のための勉強を深めるたぐさんの時間を取ります。

無原罪聖母宣教女会のmember <sup>ひとり</sup>一人として信徒宣教者と共に教会の宣教使命に積極的に協力し一緒に歩みが出来

るように望んでいます。そのために信者と隣人をもっと知るように教会の式と集まりに出来るだけ参加します。各教会では秘跡を受けるための準備をします。その希望者たちに：（子ども、大人）教えるために新たに養成の指導を受けています。

最後に1951年から1956年まで（日本に行く前のとき。）MICの雑誌“Le Précurseur”のために喜んで協力します。前にSaint-Jean & Iberville に住んでいた私たちの雑誌を予約していた人々の自宅に歩いて回りました。どこでも親切に暖かい心で迎えて下さり信頼して自分たちの苦しみ、悩み、喜び、幸せ、についてよく分かち合ってくださいました。私はその人たちになにかを与えるよりもたくさん学ばせて頂きました。素晴らしい信仰の経験になりました。

私の心の中に生きていて働いている愛と父でいらっしゃる神様はこれからも私を通して日々出会う一人一人にその愛の存在の経験をさせるようにお祈りしております。最後にすべての人を包む神様の愛の言葉の祈りを通して贈ります。

やさしい目が、きよらかな目が、  
 きょうもわたしを見てくださる  
 大きな手が、あたたかい手が、  
 きょうもわたしを支えてくださる  
 かぎりのない ひろい心が、  
 きょうもわたしを守ってくださる  
 ジゼル ランベール

私は今、郡山ザベリオ学園の敷地内にあるデリア館に住んでいます。郡山に来てから20年になりますが、その前26年間会津若松ザベリオ学園で勤めていました。両方の学園でずっと英語と宗教を教えて来ましたが、今は生徒への授業は止めて、保護者や先生方のためにだけ宗教講座を開いています。いつまで続けられるか分かりませんが、健康が許すかぎり神さまの愛を出来るだけたくさんの人に伝えていきたいと思えます。

モニカ・クルチェ

郡山ザベリオ学園から会津若松ザベリオ学園へ転勤し、長らく会津若松で暮らしておりましたが、去年の4月23日より東京の本部修道院の受付の係りをしております。

皆様ご上京の節は是非こちらへもお寄り下さいませ。お待ちしております。TEL 03 (3701) 3295 五十嵐陽子

世田谷区深沢の本部修道院に所属。世田谷聖母幼稚園の保護者の方々に「カトリックの教え」の講座クラスを担当しています。日曜日は上野毛の教会学校で子どもたちの要理の勉強を手伝っています。高橋 操 (Sr.イメルダ)

シスターの皆様、ご寄稿誠にありがとうございました。本特集は高橋学園長よりお声掛けいただき、実現することができました。厚く御礼申し上げます。(安藤)



中学校教諭(美術)

遠藤 靖枝 先生

(昭和41年〜在職)

ごさげんよう

同窓会創立35周年記念祝賀会ではたくさんのお窓生にお会いし楽しい時を過ごすことができました。ありがとうございました。

又、学園創立70周年記念レリーフ制作へのご参加を呼び掛けさせていただきました。修道会の創立者「デリア・テトロ」の思いが皆様の内に生きておられることも感じ取ることができました。麦の穂が神様を知らない子供の顔に変わっていった、デリアの夢が皆様につながり「光の子」が大人になってさらに輝き人々の道となっておられるのです。社会の中で自分を生かし生活することはむずかしいことですが、「他の人の心を知るやさしさ」があれば可能だと思います。学園で学んだことを忘れずご自分を輝かせて生き生きと生活されておられることを感じうれしく思いました。

レリーフは中学校中庭の柱に三作取り付けられました。どうぞいつでもお出かけくださりごらん下さい。ご参加いただいた方々に接した在校生によい学びの場となりました。又、美術クラブOG会より除幕式をかざるお花をありがとうございました。

私は生徒達と言いたいをしたり、近くの山を歩き、雪の上でお茶をのみ楽しんで生活しています。



神父様と美女達



喜びと感謝



デリアの夢



祈り

郡山ザベリオ学園は、「一人ひとりの子どもたちがかけがえのない存在として神様に愛されていることを、教育を通して世界中の子どもたちに知らせたい」という無原罪聖母宣教会の創立者デリア・テトロの思いから設立されました。

小学校教諭

見矢木二郎 先生

(昭和48年〜在職)

大槻移転の思い出



昭和62年(1987)7月、例年より遅い夏休みに入ってから、虎丸校舎から大槻の新校舎への引っ越し作業が始まりました。この作業には、多くの保護者が協力して下さいました。旧校舎で使っていた机や椅子などを保護者が用意して下さったトラックで運び、新校舎に入れる時は、保護者と教職員が一体となって手渡しリレーで行いました。重く大き

い物が多く、夏の炎天下での作業は大変でした。でも、新しい校舎と広々とした校庭で伸び伸びと生活できる子どもたちの笑顔を思い浮かべると、それは、とてもやりがいのある仕事でした。あれから17年の歳月が過ぎようとしています。「語らいの並木道」などに移転当時植えられた幹周り30cmほどのケヤキは、今は1mほどにも成長し、夏になると学園の象徴である体育館の塔が正面から見えないほどに枝葉を広げ、生い茂っています。プール脇のケヤキは、私の両腕で抱えきれないほどに大きく成長しています。新校舎を巣立っていった子どもたちも、これらのケヤキのように体も心も大きく成長していることでしょう。



学園創立70周年を記念して教職員一同 (2003年:マリアの広場)



1960年代 学童期

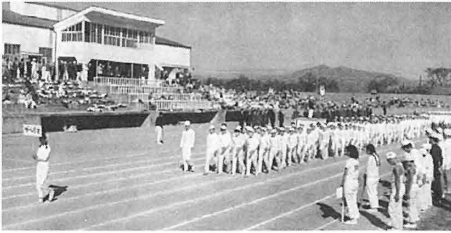
鈴木 順一

(昭和42年・小4回卒)



40年前となったザベリオ時代を懐かしみ、3800字でまとめよとの同窓会会長の仰せである。何回かの引越しを経た今、往時を偲ぶよすがは何処かに紛れ込み、じつと目を閉じ記憶を呼び戻す他に術はない。

4期生である我々の入学時、もちろん最上級生は4年生であった。開成山競技場でのスポーツ大会では、他校の応援児童数の多さに圧倒され、些か片身の狭い思いをした。校舎は虎丸地区敷地南側に建ったばかりで、3階校舎の影は長く、冬は校庭の約半分が根雪で覆われた。春ともなれば流石に日差しは高く、校庭の北東隅に設けた砂跳では盛んに高跳びが競われた。校内で珍しかったペリーロールを披露し、1mも跳べばもう得意満面であった。やがて中等部も併設されたが、進学が許されたのは女子のみであった。ここまで回想



してくると懐かしい面々の想い出が怒涛のごとく押し寄せてくる。とても3800字で書き尽くせよう筈がない。

(現・国立大学法人東京大学講師)

ザベリオ学園の思い出

鈴木 眞雄

(昭和44年・小6回卒)



幼稚園、小学校と8年間学園に通い色々な思い出が残っております。

幼稚園では、学芸会でヨゼフ様を演じたこと。冬の校庭のマリア様の像に雪が積もった風景が、子供心に美しさと神秘的な思いを感じていたことや、また、砂場の藤の木に花がいっぱい咲き誇った美しさが、強く残っています。

小学校では3年生くらいから、よく制服が破れて裁縫室に行つて縫つて頂きました。卒業するまでに何回縫つて頂いたことか、数えきれませんでした。今は懐かしくもあり、大変感謝しております。市内陸上交歓会での400mリレーで、1位になったことも良い思い出になっています。修道院に用事を頼まれ、シスターをお呼びする鐘を木槌で鳴らす時の何とも言えない緊張感などが、懐かしく思い出されます。その思い出を卒業アルバムに見る時、いつも見る箇所があります。それは将来の夢を書いた所です。今の自分があるのも、この時に書いた将来の夢



の実現にあります。それは世界一のコックになる夢です。まだまだ勉強中ですが、ある程度実現できたのかと思っておりますが、これからも、ザベリオ学園の卒業アルバムを時々見ながら、自分の道を確認しながら、頑張っていこうと思っております。

(現・㈱KIHACHI&S. 総料理長)

祈り

高田 緑

(昭和50年・中9回卒)

2001年12月15日、東京の四ッ谷にある聖イグナチオ教会の百合の香り漂うマリア聖堂の中で、私は洗礼のお恵みを授けました。マリア幼稚園(現在のザベリオ学園幼稚園)で、『天使祝詞』のお祈りを初めて言葉にしてから、35年程の歳月が経っていました。洗礼名は「キアラ」。世界中の人々に、宗教を問わず今も愛され続けている「アッシジの聖フランシスコ」の生き方に感銘を受け、共に主に仕え清貧に生きた聖女の名をいただきました。在学中に心の中に撒かれた信仰の『麦の種』は、フランシスコの『平和の祈り』によって芽生えたとも言えるのか

も知れません。祈りは、自分を見つめ、心を清める事ができます。それが神様の御旨に適うことに通じるのだと思うようになりました。殺伐とした不安な世界情勢の中、私はいつまでも『平和の祈り』を祈り続けます。そして、四ッ谷の空の下から、天に召された恩師、斉藤弘先生と嶋原友子先生に祈りを捧げています。

(現・㈱コミュニティハウスプラザ広報室)



聖イグナチオ教会での洗礼式

一瞬のタイムスリップ

朝倉 俊成

(昭和49年・小11回卒)



コペンハーゲンの大学病院にて

小学校を卒業してから、もう30年が経過しています。あの当時の小学校は現在のホテルハマトツにあり、私は富久山からバス



で通っていました。いろいろ思い出があります。クラスの男子生徒は野球チームもできないような少数人数で、その倍以上が女子ということもあり、多数決ではいつも負けていたということや、いたずらをするつもりはなくとも、ガラスを割っては反省させられたことなど。

現在、私は薬剤師として病院に勤務しています。病院内に先輩や後輩が多く、ホテルハマツで開催される勉強会では、「よくここで遊びましたね……」など昔にタイムスリップしています。大学卒業後、東京に就職してから数年後に郡山に戻ってきました。それから何度か同級会に参加していますが、今では3人の子供がいる私でも、皆と話しているときはあのときの少年に戻ってしまいます。勿論、小学校卒業後久しぶりに会った旧友とも一瞬にして波長が一致します。「これが同級生なんだなあ」と感じます。今後の同窓会の発展を、心より願うばかりです。

(現・太田西ノ内病院薬剤師)



オーデンセに向かう電車の運転席で

## 温かい心

吉成 めぐみ

(昭和51年・中10回卒)



自分が生まれ育った土地に帰った時のような居心地のよさ。ザベリオという私たちの心のオアシスはいつもそこにあります。

私がザベリオに来て目にしたもの。それは、自分が11年間過ごした時の精神が、今の子どもたちの中にも生きていくということ。社会が揺れ動き、教育の内容も大きく変わっていく時代です。そんな中で、カトリックの精神(カトリックとは普遍的、という意味があるそうです)が変わることなく受け継がれていることに感動しました。ザベリオの存在意義はそこにあるのだと思います。

子どもたちが、毎日手を合わせて祈る姿、ボランティアに励む姿。社会に出て多くの大人たちが忘れてしまっていることです。どんな小さなことからでも、私たちザベリオの同窓生からまわりの社会に、温かい心を発信していきたいらいいなと思っています。

(現・郡山ザベリオ学園中学校教諭)

## 今の私がある理由

五十川 芙美

(平成11年・中33回卒)

ザベリオ学園を卒業して5年。現在、私は早稲田大学卓球部の一員として、楽しく充実した日々を送っています。在学中、私は勉強だけでなく部活動にも打ち込んでおり、多くの人からの応援に支えられ全中に三年間出場することができました。一年時の東北大会団体優勝は、今思い出しても胸に込みあげるものがあります。あの優勝は学園全体で勝ち取ったものでした。私が文武共に力を注いだのは先生方を始め、良きクラスメイトに恵まれていたからです。この環境に自分がいたことは幸せなことでした。

三年間で得たものは数えきれず、心に残るものばかりです。先生方の深い理解があったからこそ文武両道を成せましたし、何より人間性を育てて頂きました。愛に飢えている人が増えていく今、その人達に愛を与えられる人間になることが私達卒業生が出来る恩返しだと思っています。感謝の気持ちを忘れずに。

(現・早稲田大学在学中)



東京選手権、前が私です  
(東京体育館 H15. 3. 12)

## 誇りに思う

小原 彩香

(平成15年・中37回卒)



私は現在高校で、文武両道・質実剛健の校風の下、勉学と部活の両立を目指し日々励んでいます。私には毎日の生活の中で必ず意識することがあります。それは時間や人との出会いを大切に、いつも感謝の気持ちをもつことです。私が中学三年間で学んだものでした。

日々の祈りの中で毎日が迎えられることの貴重さや何事もなく暮らすことができる大切さを感じたり、今までの自分の生き方を振り返り反省する機会がもてました。また、出場した英語スピーチコンテストは自分の可能性を大きく広げるチャンスになりました。生徒会と部活の両立も難しく、時間の使い方や技術の差をいかに縮めるかなど悩んだ時もありました。しかし、友人や先生方、家族の励ましや助けのおかげで両方とも最後までやり遂げることができました。

このような恵まれた環境の中で生活できたことに感謝し、ザベリオを誇りに思っています。きっと同窓生も私と同じ気持ちでいると思います。これからもこの気持ちを大切にして日々を過ごしていきたいです。在校生のみならず、勉強も部活も頑張ってください。

(現・福島県立安積高等学校在学中)

## 中学校・昭和54年卒 (13回)

平成16年1月3日 珍満

### 初めての中学校同期会

仕事や風邪などで16名と当初より減ったものの、お忙しい中駒田先生と本間先生においでいただき、同期生の横井さん(旧姓阿部)のおとりはからいで盛大に催すことができました。小熊先生のお元気な様子も写真で拝見し、25年の歳月を感じさせない暖かく楽しいひとときを過ごしました。(丹治美樹記)



# ク ラ ス 会

など

## 中学校・昭和53年卒 (12回)

平成15年11月29日 ホテルハマツ

### 目を閉じれば虎丸校舎

卒業から四半世紀、両クラス合同のクラス会は30人で集うことができました。同窓会名簿ができたお陰もあり、関東方面や北は札幌に南は長崎からも結集。卒業以来の再会も多く心躍る一日となりました。また当時の担任、富塚悦子先生と石井キヌ先生にもご臨席を頂き、お二人の還暦をお祝いできたことは、喜びの記念となりました。

(大川原万里記)

### 斎藤弘先生を偲ぶ会 (平成13年5月2日ご逝去)

去る平成13年9月14日、ホテルハマツにて「斎藤先生を偲ぶ会」が行われました。4回生の方々の呼び掛けにより、学園からは高橋興子学園長、斎藤先生の奥様にもご出席いただき、卒年を越えて大勢の教え子たちが集まりました。会場には斎藤先生の同僚だった懐かしい先生方もおいでになり、和やかな雰囲気の中、優しかった先生の思い出を偲びました。(9回卒三澤記)



## 懐かしいあのころ (1960年代)

この運動会は、ぼくたちの最後の運動会です。運動会には準備、審判などその他いろいろあります。ぼくは、その中で招集という係りをやった。始めは、いやだなと思ったが、去年も招集をやったので、「まあしかたがない。」と思いました。去年もやったので、どういうふうになるかもわかる。

ぼくの受持ちの組は、5年1組だ。なかなか言うことを聞いてくれないので、大きい声を出すときもあります。予行演習の時は、しよつ中だ。いよいよ待ちに待った運動会だ。朝早くからお客さんがやってくる。胸がどきどきだ。心の中で、「うでの見せどころだ。」と思うとやりがいがある。開会式が終わると演技が始まる。「5年生は、ならびな。」という予行演

### 「ぼくの係」 箭内好明



1963年頃、アトムシールや鉄人のワッペンが大流行でした。



習とは、がらりと変わって、ふざけている人がいない。きつと緊張しているのだからとおもうと、笑いたくなる。次々に過ぎていく今度は、5年生の番だ。ぼくは、並べたあとから、ついていく。

5年生の演技が終わるとひと安心だ。でもすぐ次に演技がくるのでおちおち休んでは、いられない。5年生がとん所にいる時でも、ふざけている人がいれば注意しなければならぬので大変だ。

昼が終わると親子競走がある。見てみると子どもの方が速いようだ。見てみると大変おもしろい。次は、紅白リレーだ。「どつちも敗けるな。」などとみんなはりきって応援をしている。いよいよ閉会式だ。つかれたようすも見えない。でも、残念なのは、けが人が多いことだ。でも5年生からけが人がいなかったのは、いいことだ。

この運動会は、最後なので、なごりおしいような気持ちだ。

(昭和41年度(1966)卒業記念アルバムより)



今後も、同窓会では年一回の総会および会報発行、学園バザー参加を予定しています。(同窓会への連絡先は裏表紙(14頁)に記載)

住所変更等により連絡先が変わった場合、同窓会事務局へご連絡ください。

**連絡先変更通知**

同窓会より表彰させていただきたく、該当する会員の方は、同窓会事務局までお知らせください。

**親子三代**

同窓会より表彰させていただきたく、該当する会員の方は、同窓会事務局までお知らせください。

**会報投稿・編集委員募集**

今回はじめて発行いたしました同窓会会報ですが、毎年続けていきたいと考えております。その為には皆様のご協力が不可欠です。会報に掲載する記事・情報がございましたらご一報ください。また、編集委員を多数募集しております。どうぞお力添えくださいますようお願いいたします。

**学年連絡網**

会員の皆様へ迅速に連絡を行い、各回で充実したコミュニケーションをとっていただくため、卒業年度ごとに連絡網を作成することとなりました。同級生へのご連絡をお引き受けいただける方、また小・中のみでも同級生内でのご連絡が可能な方であれば自薦他薦を問いません。左記の方々にはご承諾をいただきましたが、未定の回はご決定いただき、ご連絡下さいますようお願いいたします。

卒回	小学校卒年	氏名
2	S.40.3 (1965)	吉田 禎典
4	42.3 (1967)	岡田 真理
5	43.3 (1968)	原 祐子
6	44.3 (1969)	伊藤 ひろ美
7	45.3 (1970)	佐藤 真治
8	46.3 (1971)	栗原 裕子
9	47.3 (1972)	三澤 能子
10	48.3 (1973)	吉成 めぐみ
11	49.3 (1974)	中田 香歩
13	51.3 (1976)	丹治 美樹
14	52.3 (1977)	武田 かおり
15	53.3 (1978)	安藤 有加
16	54.3 (1979)	高橋 真美
17	55.3 (1980)	遠藤 志保
18	56.3 (1981)	古川 淳子
26	H.1.3 (1989)	佐久間 友樹子
28	3.3 (1991)	樽川 琴美

**名簿等個人情報の取扱い**

同窓会では、案内・会報の配布を全員に「送付」するため、連絡先データを保管させていただいております。情報化時代を迎え、個人情報管理関連の法律も施行され、現在、学園では在校生名簿は配布しておりません。小学校の卒業生が中学校の在校生である場合など諸事考慮し、同窓生名簿の発行も慎重に検討してまいります。同窓会での連絡網作成の背景には、このような社会事情も含まれておりますことをご理解いただき、ご協力よろしくお願いたします。(岡田)

**郡山ザベリオ学園 平成16年 募集要項**

**幼稚園**

- ◆ 定員 3年保育：約70名  
2年保育：約50名  
1年保育：若干名
- ◆ 願書交付／9月10日
- ◆ 受付／10月1日

**小学校**

- ◆ 定員 80名
- ◆ 願書交付／9月上旬～10月上旬
- ◆ 選考日／10月第1土曜日

**中学校**

- ◆ 定員 80名
- ◆ 願書交付／11月中旬
- ◆ 選考日／12月上旬

お問い合わせ

電話 024-952-7756

**郡山ザベリオ学園同窓会 会則 (現行)**

**第1章 総則**

- 第1条 本会は郡山ザベリオ学園同窓会と称する。
- 第2条 本会は事務局を郡山ザベリオ学園内におく。必要ある場合は支部を置くことができる。

**第2章 目的及び事業**

- 第3条 本会は会員相互の親睦を図り、母校生徒ならびに職員との友誼を厚くし、母校を援助し、その発展を図ることを目的とする。
- 第4条 本会は次の事業を行う。
  1. 総会等の開催。
  2. 会報、会員名簿の発行。
  3. 郡山ザベリオ学園の後援。
  4. その他目的達成に必要な事項。

**第3章 会 員**

- 第5条 本会は次の会員をもって組織する。
  1. 母校関係教職員。
  2. 郡山ザベリオ学園小学校または中学校を卒業した者。

**第4章 役員及び委員会**

- 第6条 本会に次の役員をおく。
 

会 長	1名	会務を総括する。
副会長	3名	会長を補佐し、会長に事故あるときは、これを代理する。
会 計	2名	会の会計を司る。
監 査	2名	会計を監査する。
幹事長	1名	会長の命により会務を処理する。
幹 事	20名以下	会務を分担協力する。
顧 問	若干名	会長の諮問に応ずる。
校内幹事	若干名	会の庶務全般を処理する。
- 第7条 本会は必要に応じて、役員会の承認により各種委員会を設置する。
- 第8条 会長、副会長、会計、監査は総会において選任する。幹事長並びに幹事は、会員中より会長が委嘱する。校内幹事は、母校に在職する同窓生に会長が委嘱する。顧問は、郡山ザベリオ学園園長、小学校長、中学校長及び直前会長とする。
- 第9条 役員任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

**第5章 会 議**

- 第10条 会議を分けて総会及び役員会とする。総会は全会員をもって組織し、役員会は役員をもって組織する。
- 第11条 会議の議決は出席会員の3分の2以上の同意を得ることが必要である。
- 第12条 総会は、通常総会及び臨時総会とする。通常総会は、原則として毎年1回開催し、臨時総会は会長必要ありと認めるとき開催する。
- 第13条 役員会は会長必要ありと認めるとき開催する。

**第6章 会 計**

- 第14条 本会の事業年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終わる。
- 第15条 本会の経費は、入会金・会費及び寄付金による。会員の入会金は3,000円とし、これを卒業年度に納める。
- 第16条 本会における収支予算は役員会の決議によりこれを執行し、決算は総会において報告する。

**第7章 附 則**

- 第17条 本会則を変更するには、総会の決議を要する。この会則は、昭和63年8月14日より実施する。平成15年8月16日一部改定。



## 同窓会へ寄附のお願い

郵便振込票は1回35回卒(18才以上)の方に同封してあります

お名前の他に、卒年(回)もご記入ください。

(振込手数料は各自負担ください)

郡山ザベリオ学園同窓会会長 鈴木淳策

口座No./2117015

銀行口座・東邦銀行郡山支店 普通預金

郡山ザベリオ学園同窓会

郵便振替・0226018163131番

一口 1,000円(何口でも)

同窓会では、母校への貢献をはじめ、今後さまざまな活動を活発に行っていくたいと考えております。毎年、新同窓会員からは入会金の提供がありますが、活動を継続するためには十分ではありません。そこで、この度、広く同窓生の皆様に寄附を募るようになりました。つきましては、趣旨を御理解の上、皆様からの温かい御芳志をお願い申し上げます。

## 平成16年 同窓会総会

本年は昨年同様、旧校舍跡地であるホテルハマツで開催いたします。総会後は懇親会を予定しています。クラス会、同期会をかねてのご参加など、お問い合わせの上、是非ご出席ください。

6月26日(土)

18時30分より

場所/ホテルハマツ 3F・右近の間

郡山市虎丸町3-18 電話 024(935)1111

ホテルハマツ宿泊の方、同窓会の旨お伝えください。

会費/当日受付にて

6,000円 (20才以上 [1回~33回卒])

3,000円 (20才未満 [34回~41回卒])

申込/6月10日(木) 必着

同封の葉書にてお申し込みください。(切手不要)  
e-mailでお申込の場合は、卒年(回)、氏名、連絡先をご記入のうえ、下記アドレスへ。

キャンセル/6月19日(一週間前)まで、岡田真理へ

お知らせください(連絡先は下記)。

以後は会費を申し受けます。

### 母校旧・現職員の皆様

昨年の同窓会創立35周年祝賀会では、ご出席の先生方と大変楽しい時間を過ごせました。ありがとうございます。本年も懐かしい顔を拝見いたしたく、ご参加をお待ち申し上げます。

### 各種お問合せ、ご連絡は

同窓会事務局：郡山ザベリオ学園内

〒963-0201 郡山市大槻町字古屋敷102

TEL (024) 952-7756

FAX (024) 952-7014

連絡担当役員：岡田真理(副会長)

〒963-8041 郡山市若木下40

TEL&FAX (024) 922-5966

e-mail : koxadous@zpost.plala.or.jp

### 名簿・ファイル

同窓会員名簿(平成15年発行)・クリアファイル(創立35周年記念)を販売いたしております。購入ご希望の方は、下記連絡先にお問い合わせください。また、総会・母校バザー「同窓会コーナー」でも販売いたします。クリアファイルは青と白があり、金文字で同窓会名が入っています(写真裏)。ぜひご利用ください。

名簿.....1冊/3,500円(送料別)  
ファイル...1冊/1,500円(送料別)

### ご意見をお寄せください

今後の活動についてご意見を募集します。ボランティア、親睦会、総会の場所、時期、会報についてなど、ご意見、ご希望をお聞かせください。

(本年の総会は、6月そして夜の開催ですが、来年は学園での開催も検討しています。)

### 母校バザー 平成16年11月7日(日)

学園の一大イベントでありますバザーにできるだけお手伝いしたいと考えております。具体的には未定ですが、「同窓会コーナー」を設ける予定です。物品・手作り作品など、10月1日~31日の期間、卒業年(回)・氏名を明記の上、事務局にお届けいただければ幸いです。皆様のご協力をお願い致します。(森村)

### 同窓会喫茶コーナー

いれたてのコーヒー、紅茶が飲み、ちよつとひと休み、そんなスペースが同窓生で運営されている喫茶コーナーです。毎年順送りで高校生達がウエイトルスのお手伝いに来てくれます。是非お立ち寄りをお待ちください。懐かしい顔に出逢えるかも知れません。(伊藤)



### 編集後記

この度、ザベリオ学園同窓会の広報紙である同窓会会報創刊号の発刊に何とかこぎ着くことができました。同窓生の皆様になるべく多くの情報を伝えようと考え編集しました。快くご寄稿して下さい先生方、同窓生の皆様に感謝いたします。ザベリオ学園同窓会は、同窓会としては歴史が浅くまだまだ未熟です。今後、会報が将来にわたる学園と同窓会会員をつなぐ媒体となり、ザベリオ学園および同窓会が益々発展することを願うものです。

(会報委員長 安藤昌廣)